

特定非営利活動法人日本栄養改善学会 関東・甲信越支部会
第22期 令和6年度 第1回 幹事会 議事要旨

日時:2024年9月6日(金) 14:10~15:00

会場:大阪公立大学 杉本キャンパス 全学共通教育棟 4階 846 教室

出席幹事 木村典代(支部長)、水上由紀(副支部長、庶務担当)、石川祐一(支部会学術総会会長)、
竹内真理(会計担当)、武見ゆかり、海老原泰代(HP担当)、小澤啓子(セミナー担当)、
吉崎貴大、山岸博之、村山伸子、玉浦有紀、古閑美奈子(セミナー担当)、石原三妃、
藤田睦(監事)、鈴木一恵(監事)

欠 席 (幹事)高田和子、五味郁子

<議題>

1. 第22期(令和5年度)事業計画について

① 役員について(資料1)

資料1の役員の顔合わせを行った。

② 事業計画について(資料2)

支部長から資料2について説明があり承認された。

③ 第11回学術総会・市民公開講座について(資料3)

資料3に基づいて、石川幹事より、市民公開講座は茨城キリスト教大学と共催にて11月9日に、学会総会は栃木県と茨城県が担当県として、茨城県と栄養士会の共催で2025年2月8日に開催されることが報告され、承認された。支部会学術総会の発表者資格に「発表者または発表責任者は日本栄養改善学会会員に限る」という申し合わせがあるが、今回は栄養士会と共催のため、発表資格の制限は設けないことが提案され、承認された。卒業研究のテーマも受ける予定なので、多くの演題応募をお願いすることが提案された。

配付予定のチラシ案も承認されたので、QRコード等の情報を加筆し、支部会ホームページに掲載されることが報告された。

栄養学雑誌82巻6号に掲載予定のため、10月20日までに本部に原稿を送るため、支部長より石川幹事宛に原稿作成の依頼があった。

2. 第22期事業予算について(資料4)

資料4について支部長から説明があり、承認された。

3. 第22期通常総会の開催時期と開催方法について(資料5)

第22期通常総会は2024年12月16~22日にオンデマンド開催

支部会ホームページに議事・資料を掲示・承認の可否を返信してもらい、12月24日以降に結果をホームページに掲載する方法が説明され、承認された。

4. 第12回学術総会と市民公開講座について(資料6)

2025年は栄養改善学会が関東・甲信越で開催されるため、学術総会と市民公開講座は開催しなくてよいことが支部長から報告された。

資料6の過去の学術総会・市民公開講座の担当幹事をみると、第11回で全県一周したことが確認された(第11回は茨城・栃木の合同開催)。神奈川県は幹事が3名いるので、2026年の開催は、神奈川県の幹事(水上副支部長、山岸幹事、五味幹事)で相談し、幹事会に報告することになった。

5. その他

実践栄養学研究セミナーの現在の進行状況について小澤幹事と古閑幹事から報告があり、第71回日本栄養改善学会2日目午前中に支部意見交換会が開催される予定で、小澤幹事と古閑幹事に出席を依頼したことが報告された。

<報告>

1. 第21期事業報告について(資料7)

資料7について支部長から説明があった。

2. 第21期決算報告、監査報告について(資料8)

会計および活動の監査を2名の監事が行い、会計および活動は適正に行われていることが報告された。

3. NPO 第22期理事会支部長 合同会議の報告(資料9)

支部長より、合同会議の報告があった。

4. 関東・甲信越支部会規則、申し合わせ(資料10)

規則、申し合わせ及び報告に使用するフォーマットが配付された。なお、支部会は免税事業者であるため、インボイスの発行を請求されても発行できない。

また、事業報告や事業申請等は配付されたフォーマットで作成するよう説明があった。

5. 第72回日本栄養改善学会学術総会について

日本栄養改善学会学術集会は、4年ごとに関東甲信越で開催される。2025年は関東甲信越での開催となるため、石見大会長から支部への協力依頼があった。

次回幹事会は、2025年2月に開催予定。